

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月5日 (2012.4.5)

【公表番号】特表2011-515391(P2011-515391A)

【公表日】平成23年5月19日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2011-500740(P2011-500740)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/44 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/50

A 6 1 P 31/16

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月14日 (2012.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ライノウイルスにより引き起こされる疾患の治療および / または予防用の医薬であって、過酸化水素産生酵素を含むことを特徴とする医薬。

【請求項 2】

過酸化水素産生酵素が、グルコースオキシダーゼ、キシリトールオキシダーゼ、マンニトールオキシダーゼ、乳酸オキシダーゼ、ガラクトースオキシダーゼおよびグリセロールオキシダーゼからなる群から選択されることを特徴とする、請求項 1 記載の医薬。

【請求項 3】

過酸化水素産生酵素が、アミログルコシダーゼと併用するグルコースオキシダーゼであることを特徴とする、請求項 1 記載の医薬。

【請求項 4】

疾患が普通感冒であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 5】

過酸化水素産生酵素がリンゲル液に処方されることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 6】

水溶性であることを特徴とする、前記請求項いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 7】

鼻腔用スプレーとして処方することを特徴とする、前記請求項いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 8】

点鼻薬として処方することを特徴とする、請求項 1 ～ 6 いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 9】

さらに酵素基質を含むことを特徴とする、前記請求項いずれか 1 項記載の医薬。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 いずれか 1 項記載の医薬の製造における、過酸化水素産生酵素の使用。

【請求項 11】

過酸化水素産生酵素が、グルコースオキシダーゼ、キシリトールオキシダーゼ、マンニトールオキシダーゼ、乳酸オキシダーゼ、ガラクトースオキシダーゼおよびグリセロールオキシダーゼからなる群から選択される請求項 10 記載の使用。

【請求項 12】

過酸化水素産生酵素が、アミログルコシダーゼと併用されるグルコースオキシダーゼである、請求項 10 記載の使用。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 9 いずれか 1 項記載の医薬において用いるための過酸化水素産生酵素。

【請求項 14】

グルコースオキシダーゼ、キシリトールオキシダーゼ、マンニトールオキシダーゼ、乳酸オキシダーゼ、ガラクトースオキシダーゼおよびグリセロールオキシダーゼからなる群から選択される、請求項 13 記載の過酸化水素産生酵素。